



# 防災・減災に挑戦する 人工知能プロジェクト

参加費無料

2017年10月27日(金) 13:00~17:00

会場：けいはんなプラザ 3階 ナイル B

地震・豪雨・噴火に伴う大規模災害時、“つぶやき”などのSNS情報を自治体が情報収集と情報発信に活用する事例が増加しています。これらの情報をAI(人工知能)を用いて分析・集約することで迅速かつ効果的な救援・避難を実現するため、関係者が集う場を設けます。ぜひ、ご参加下さい。

## ■ 講演会 — 13:00~14:40

SNS情報を防災・減災に生かすための“AI情報分析システム”に関する最新研究を紹介します。

### 「防災・減災分野の課題、最新技術の導入を目指して」

山口真吾(慶應義塾大学環境情報学部 准教授)

### 「自然言語処理技術を用いた災害情報分析の最新研究」

鳥澤健太郎(国立研究開発法人情報通信研究機構 データ駆動知能システム研究センター センター長)

### 「防災情報共有システム(SIP4D)とその利活用技術の最新研究」(仮題)

花島誠人(国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター 主幹研究員)

### 「最先端の自然言語処理技術を活用した防災 AI プラットフォームの研究開発」

榎本吉秀(アビームコンサルティング株式会社 シニアマネージャー)

## ■ 防災 AI 共同研究会議 — 15:00~17:00

本会議は、本年6月、自治体などがAI活用型の防災訓練を実施できるようにするためのガイドライン策定をめざして慶應大学(山口研究室)、情報通信研究機構、防災科学技術研究所が共同で設立しました。今回は、中間報告と会場も交えたオープンディスカッションを行います。

お問い合わせ先 慶應義塾大学環境情報学部 山口真吾研究室 E-mail: shingo5@sfc.keio.ac.jp

主催：慶應義塾大学環境情報学部(山口研究室)、国立研究開発法人情報通信研究機構、国立研究開発法人防災科学技術研究所

同時開催 10/26(木)~28(土) けいはんな情報通信フェア2017 フェアの詳細は <http://khn-fair.nict.go.jp/> まで。

